



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

— あいなん音故地新 —

祝福

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。中学、高校の3年間、丸々マスク生活やった最初で最後の卒業生なんじゃないかと思う。誰も経験したことのなかったパンデミック。混乱と手探りの中であなたたちなりに考えたり感じたり工夫したこともあったはず。今までにない状況の中からは今までにない物事が生まれる。あなたたちにしか思いつかんことや、できんことが必ずあるはず。どうかこの3年間を前向きに受け止めて4月から始まる新しい世界で小さいこと、大きいことにたくさん挑戦してほしい。命さえ大切にしてくれれば、いくら失敗してもええから、失うことや欠けることを恐れずどんどん挑戦してほしい。その経験があなたという人間をつくり、成長させ、誰かを助ける知恵になる、誰かを守る力になるから。

そして、疲れたときはいつでも故郷に帰ってきてほしい。この町はいつまでも変わらず歓迎してくれる。そして、おいしいものを食べてきれいな海や空、山を見て充電して、また頑張れそうならそうすればいい。帰る場所がある、ということを中心に心の片隅に置いてほしい。それだけで踏ん張れることがあるはずだから。

改めて、卒業おめでとう。あなたたちの踏み出す新しい一歩を心から祝福しとるよ。
(テノヒラkiku)



本日！海日和！！ vol.148



「春爛漫」



3月に入り、桜の便りが各地から届けられている。愛南の山桜もこの時ばかりと存在感を示している。岬のあちらこちらがピンクに染まるのを海から見るのも、この季節ならではの贈り物だ。

海の中で満開の桜を思わせるのがオオトゲトサカだ。特に50cm以上に育ったものは、桜の古木をも思わせる。植物のように見えるが、サンゴの仲間である。おなじみのテーブルサンゴは石のように固いので、ハードコーラルと呼ばれる。オオトゲトサカは体が柔らかいので、ソフトコーラルと呼ばれている。愛南の海は、ソフトコーラルが多く、色鮮やかなので、「海のお花畑」とも呼ばれている。

花のように見えるのが、ポリプと呼ばれる一匹のサ



【オオトゲトサカ】

ンゴだ。この中心に口があり、口の周りの触手で小さなプランクトンを捕まえて食べている。小さな生き物にとっては、恐ろしい相手だ。

陸上の桜は散ってしまうが、オオトゲトサカはいつも同じ場所でダイバーを迎えてくれる。いつ見ても感激する美しさだが、飲んべえの私には、花見酒が飲めないのが唯一の欠点である。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 ともてる 西尾知照